

令和 2 年 度

鹿児島県立楠隼高等学校
入学者選抜実施要綱

鹿児島県教育委員会

令和2年度鹿児島県立楠隼高等学校入学者選抜の主な日程

内 容	月 日 (曜日)	備 考
願書受付	令和2年1月14日(火) から 令和2年1月21日(火) まで	◎郵送のみの受付(簡易書留, 当日消印有効)
選抜実施	令和2年2月4日(火)	◎検査会場 【本校会場】 鹿児島県立楠隼高等学校 【鹿児島会場】 鹿児島県婦人会館
選抜結果発表	令和2年2月7日(金) 午前10時以後	◎入学者選抜結果通知方法 ・レタックスによる選抜結果通知書の発送 ・楠隼高等学校のホームページによる合格者の受検番号の発表

〔1〕募集定員及び出願資格

1 募集定員

90人(ただし、楠隼中学校からの入学者(60人以内)を含む。楠隼中学校からの入学者数については、12月下旬に鹿児島県教育委員会ホームページ等で公表する。)

2 出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当する男子とする。

- (1) 令和2年3月に中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部(以下「中学校」という。)を卒業又は修了(以下「卒業」という。)する見込みの者
- (2) 中学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則第95条に該当する者

〔2〕出 願

1 出願期間

令和2年1月14日(火)から1月21日(火)まで(当日消印有効)とする。

2 出願手続

- (1) 入学志願者は、楠隼高等学校長に**入学願書**を提出する。入学願書は、楠隼高等学校が作成したものをを用いること。
なお、提出方法は郵送(簡易書留)のみとする。
- (2) 入学願書には、入学検定料として、入学願書の右上肩に2,200円分の鹿児島県の収入証紙を貼付する。ただし、鹿児島県外からの志願者については、入学検定料は楠隼高等学校が指定する方法で納入する。
- (3) 入学志願者は、入学願書のほか、**調査書**(別紙様式)及びその他楠隼高等学校長が指定する書類等を出願期間内に提出する。
なお、調査書については、入学志願者が別紙様式により出身中学校に作成を依頼し、出身中学校が厳封したものを提出すること。
- (4) 入学志願者又はその保護者(親権者又は後見人をいう。以下同じ。)は、身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする場合は、出願手続と同時にその旨を楠隼高等学校長に申し出る。

- (5) 楠隼高等学校入学者選抜に出願した者は、本県公立高等学校入学者選抜のうち、推薦入学者選抜に出願することができない。
- (6) 楠隼高等学校長は、入学者選抜出願者数を別途指示する方法で県教育庁高校教育課長に報告する。

3 入学願書の受付

- (1) 楠隼高等学校長は、入学願書の受付に際して、次の点に留意する。
- ア 願書の記載事項について、誤記や記載漏れ等がないかを確かめること。
- イ 受け付けた入学願書に不正を発見した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことができる。
- (2) 楠隼高等学校長は、入学願書を受け付けた場合は、受検票を入学志願者に交付する。

[3] 選 抜

1 方 針

選抜は、楠隼高等学校の求める生徒像に照らし、その教育を受けるに足る能力・適性等を慎重に判定して行う。

2 方 法

楠隼高等学校長は、入学者を次の方法で選抜する。

- (1) あらかじめ楠隼高等学校長を委員長とする選抜委員会を構成し、選抜の公正を期するものとする。
- (2) 選抜は、国語、数学、英語の3教科について行う学力検査及び面接の結果並びに調査書、その他提出された書類等を総合して行う。
- (3) 学力検査は、各教科それぞれ100点満点とし、合計300点満点とする。
- (4) 入学志願者又はその志願者の保護者から身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする受検者について申し出があった場合、楠隼高等学校長は、学力検査の実施に当たり、当該受検者の障害等の程度に応じて、別室での受検、検査室の座席、補聴器等の使用など適切な措置を講ずること。
- (5) 楠隼高等学校入学者選抜の合格者数が募集定員に満たない場合は、鹿児島県公立高等学校入学者選抜第一次入学者選抜（一般入学者選抜）及び第二次入学者選抜を実施する。当該選抜の実施の有無、募集定員については、鹿児島県教育委員会ホームページ等で公表する。

3 調 査 書

- (1) 全般的事項
- ア 調査書作成に当たっては、出身中学校長を委員長とする作成委員会を構成し、その公正を期するものとする。
- イ 調査書は、令和元年2学期末（2学期制の学校においては令和元年12月の授業最終日）現在で作成する。
なお、期日については記載日とする。
- ウ 調査書作成に当たっては、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）を基にして記入する。
- エ 過年度卒業者の調査書作成に当たっては、指導要録に記載してある記録を記入する。ただし、旧指導要録に該当欄のないものは、記入しなくてもよい。
また、旧指導要録と現行指導要録と区分が異なるときは、区分を訂正して記入する。
- オ 高等学校退学者の調査書作成は出身中学校で行い、旧在籍高等学校の在学中の記録を添付する。
なお、旧在籍高等学校在学中の記録は旧在籍高等学校で作成し、出身中学校長に送付する。その内容は退学年月日、退学理由、在学中の出席状況、行動及び学習の記録等とする。

カ やむを得ない事情によって、所定の調査書を提出できない者については、その理由を付して、調査書に代わる適当な資料をもってこれに代えることができる。

キ 作成した調査書は、楠隼高等学校が指定する封筒に入れ、厳封（緘印を押印すること。）した上で出願者に交付すること。

(2) 作 成

㊤ 学習の記録

(ア) 「観点別学習状況」は第3学年について記入する。各教科の目標の観点ごとの実現の状況が「十分満足できる」状況と判断されるものをA, 「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB, 「努力を要する」状況と判断されるものをCの記号により記入する。

なお、「観点別学習状況」の(1)～(4)は、それぞれ(別表)に示す各教科の評価の観点(1)～(4)(国語においては(1)～(5))に当たる。

(イ) 第1学年・第2学年の各教科の評定は5段階とし、指導要録に記入してあるものを記入する。

(ウ) 第3学年の各教科の評定は5段階とする。

(エ) 「選択教科」については、指導要録に記載される方法で評定を記入する。

(オ) 「総合的な学習の時間の記録」は、指導要録の記載に基づき、各学年ごとに学習活動と評価について簡潔な文章で記入する。

㊦ 行動の記録

「行動の記録」は主に第3学年について、各項目ごとに、十分満足できる状況にあると判断される場合には、欄内に○印を記入する。

㊧ 出欠の記録

第1学年・第2学年については、指導要録に記入してあるものを記入し、第3学年については**令和元年2学期末(2学期制の学校においては令和元年12月の授業最終日)現在**で記入する。

「出席日数」は、「出席しなければならない日数」から「欠席日数」を差し引いたものを記入する。

㊨ 総合所見及び指導上参考となる諸事項

「総合所見及び指導上参考となる諸事項」は、指導要録等の記載に基づき、以下のような事項などを記入する。

(ア) 各教科や「総合的な学習の時間」の学習に関する所見

(イ) 特別活動に関する事実及び所見

(ウ) 行動に関する所見

(エ) 進路指導に関する事項

(オ) 健康の状況に関して、受検上配慮すべき事項

(カ) 生徒の特徴・特技、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動など指導上参考となる諸事項

(キ) 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見

4 学力検査

(1) 出題の方針

学力検査問題は、中学校の教育課程に基づく学習の成果として、思考力・判断力・表現力や課題解決的な学習の成果等を見ることが出来るものとする。

(2) 実施方法

学力検査は、次により行う。

ア 教 科	国語, 数学, 英語
イ 期 日 ・ 日 程	令和2年2月4日(火) 9:30 集合
	10:00~10:50 (50分間) 国語
	11:10~12:00 (50分間) 数学
	13:00~13:50 (50分間) 英語
	(聞き取りテストを含む。)
ウ 検 査 場	楠隼高等学校及び鹿児島市の検査場
エ 配 点	各教科それぞれ100点満点 合計300点満点

(3) 受検上の注意事項

- ア 問題用紙等が配布されていることを確認する。
- イ 問題用紙等には受検番号を記入する。
- ウ 印刷不鮮明などについて質問がある場合は、無言で手を挙げる。
- エ 番号や記号で解答するようになっているものは、必ずそれで解答する。
- オ 数を限定して解答を求められている場合、指定された数より多く解答したものは、減点されることから注意する。
- カ 検査中、声を出してはならない。
- キ 不正行為は絶対にしてはならない。
- ク 遅刻した者は、直ちに楠隼高等学校長に届け出て指示を受ける。
- ケ 受検者が検査場に携行する用具は、次のとおりとする。
鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆けずり、三角定規、ものさし、コンパス
- ※ 分度器、分度器付きの三角定規、計算機、翻訳機、計算機又は翻訳機付きの時計等、検査上公正を欠くと判断されるものは使用を認めない。
- コ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、検査開始前に必ず電源とアラームを切って、かばん等にしまうこと。従わない場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出すなど必要な措置をとるとともに、受検資格を失うこともある。
- サ アラーム付きの時計を携行する者は、アラーム・時報が鳴らないようにしておく。
- シ 楠隼高等学校の「受検上の注意事項」によく留意する。

5 面 接

(1) 対 象 者

面接は、入学志願者全員を対象とする。

(2) 期 日

面接は、学力検査終了後に行う。

(3) 実施計画

面接の具体的な実施計画は、楠隼高等学校長が定め、面接の公正・円滑な実施を期するものとする。

(4) 方 法

面接は、集団面接又は個人面接とする。

なお、面接の実施に当たっては入学志願者の人権に配慮する。

(5) 質問事項

質問事項は楠隼高等学校で定める面接の方針に沿って、十分検討して決定する。

(6) 評価

評価の項目や方法については、楠隼高等学校において、質問事項の検討と併せて、十分に検討して決定する。

(7) 面接結果の利用

面接の結果は、選抜の一資料として用いることができる。

6 選抜結果の通知及び発表等

(1) 楠隼高等学校長は、入学者選抜の結果について、**令和2年2月7日（金）午前10時以後**、結果通知書を発送するとともに楠隼高等学校のホームページに合格者の受検番号を発表するものとする。

(2) 楠隼高等学校長は、入学者選抜の結果について、別途指示する方法で県教育庁高校教育課長に報告する。

(3) 合格者は、**入学申出書**又は**入学辞退届**に必要事項を記入し、**令和2年2月10日（月）午後5時までに**、楠隼高等学校へFAX(0994-65-1113)で送信する。ただし、他の高等学校の入学手続きをしようとする者については、入学辞退届を送信すること。FAXの受領後、楠隼高等学校はFAXを受理した旨を、合格者へ電話で連絡する。

合格者はその後、速やかに入学申出書又は入学辞退届の原本を楠隼高等学校長宛て郵送（速達簡易書留）で提出する（**令和2年2月13日（木）午後5時まで**）。

また、入学申出書を提出した者については、楠隼高等学校長が、出身中学校長に入学予定者通知書を送付し、他の高等学校の受検又は手続きはできないものとする。

7 その他

ここに定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

(別表)

各教科の評価の観点

教科	観 点
国 語	(1) 国語への関心・意欲・態度
	(2) 話す・聞く能力
	(3) 書く能力
	(4) 読む能力
	(5) 言語についての知識・理解・技能
社 会	(1) 社会的事象への関心・意欲・態度
	(2) 社会的な思考・判断・表現
	(3) 資料活用の技能
	(4) 社会的事象についての知識・理解
数 学	(1) 数学への関心・意欲・態度
	(2) 数学的な見方や考え方
	(3) 数学的な技能
	(4) 数量や図形などについての知識・理解
理 科	(1) 自然事象への関心・意欲・態度
	(2) 科学的な思考・表現
	(3) 観察・実験の技能
	(4) 自然事象についての知識・理解
音 楽	(1) 音楽への関心・意欲・態度
	(2) 音楽表現の創意工夫
	(3) 音楽表現の技能
	(4) 鑑賞の能力
美 術	(1) 美術への関心・意欲・態度
	(2) 発想や構想の能力
	(3) 創造的な技能
	(4) 鑑賞の能力
保 健 体 育	(1) 運動や健康・安全への関心・意欲・態度
	(2) 運動や健康・安全についての思考・判断
	(3) 運動の技能
	(4) 運動や健康・安全についての知識・理解
技 術 ・ 家 庭	(1) 生活や技術への関心・意欲・態度
	(2) 生活を工夫し創造する能力
	(3) 生活の技能
	(4) 生活や技術についての知識・理解
外 国 語	(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	(2) 外国語表現の能力
	(3) 外国語理解の能力
	(4) 言語や文化についての知識・理解

(別紙様式)

調 査 書

志願者	ふりがな 氏 名				性別	※受検番号								
	生年月日	年	月	日		学級成績一覧表番号	組	番						
令和 平成 年 月 日卒業見込・卒業					現住所									
① 学 習 の 記 録	教 科	観点別学習状況					評 定			※換算点	行 動 の 状 況			
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	第1学年	第2学年	第3学年		② 行 動 の 記 録	基本的な生活習慣		
	国 語								健康・体力の向上					
	社 会								自主・自律					
	数 学								責 任 感					
	理 科								創 意 工 夫					
	外国語								思 い や り ・ 協 力					
	音 楽								生 命 尊 重 ・ 自 然 愛 護					
	美 術								勤 労 ・ 奉 仕					
	保健体育								公 正 ・ 公 平					
協・徒								公 共 心 ・ 公 徳 心						
					※合計				③ 出 欠 の 記 録	学年	欠席日数	出席日数	備 考	
選 択 教 科								1						
教科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭		外国語	2			
学年											3			
										④ 総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と な る 諸 事 項	総合的な学習の時間の記録			
											第1学年			
											第2学年			
											第3学年			
調査書記載者氏名										この調査書は、事実と相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 _____ 校 長 氏 名 _____ 印				

(備考) ※印欄は楠隼高等学校で記入する。

[注：日本工業規格A4 (210mm×297mm) 縦型使用]